

平成30年7月から12月に実施した事業

1. 書の文化の伝承

◎第9回大仏書道大会「書くことは楽しい in 奈良」を開催

実施日 平成30年10月27日（土）～28日（日）

会場 東大寺大仏殿西回廊

10月27日（土）から28日（日）の2日間、東大寺大仏殿西回廊に於いて、「第9回大仏書道大会」の書道展を開催しました。28日（日）には表彰式・席書会・大仏さまへの作品奉納も行いました。

当書道展は、書の可能性を感じさせるような作品、単なる教科書的な技術だけではなく、自由な感性、創造性や味わい深さなども加味し光をあてる稀有な大会として、全国から毎年多数の応募をいただいています。平城遷都1300年を記念して始まり、今年で第9回目を迎えました。

今回も60の高校・大学から1109点の応募があり、学生書道界に定着してきました。森本公誠・東大寺長老（当フォーラム理事・特別顧問）を審査委員長に迎え、奈良県教育委員会の書道担当職員、高校や大学の書道教員に今回も審査に携わっていただき、7点の特別賞と93点の入賞作品を選定しました。

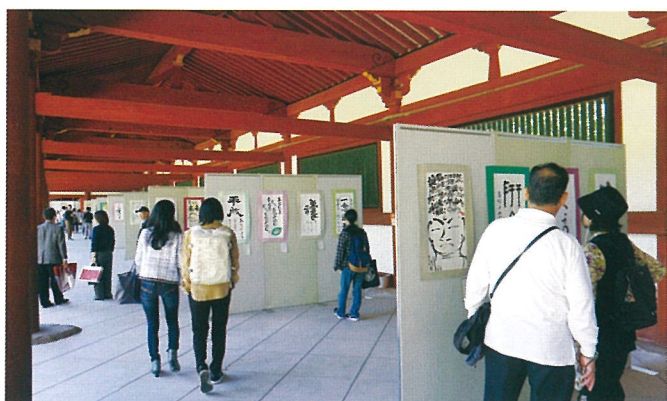
また、奨励賞に今宮高等学校（大阪府）、奈良学園登美ヶ丘高等学校（奈良県）、越ヶ谷高等学校（埼玉県）の3校が選ばれました。

受賞作品100点を大仏殿西回廊に展示しました。正倉院展の開催期間と重なり、地元奈良はもちろんのこと、全国各地・海外からの参拝客、観光客の方にも観覧していただき、約1100名の来場を得ました。2日目は席書会も開催し、森本長老の講話の後、高校生・大学生約20名が華嚴唯心偈（百字心経）の写経と自由な作品創作を行いました。その後、森本長老のご案内で、大仏さまの台座へ上がって作品を奉納しました。

以下写真でご紹介します。



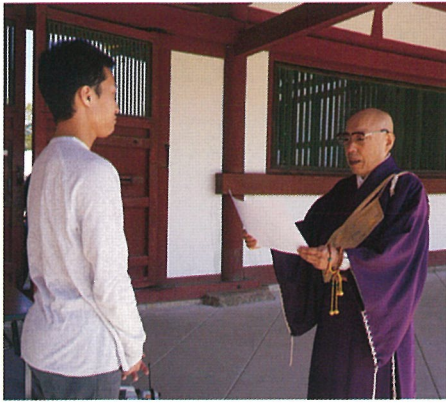
審査会風景（朝日新聞社奈良支局）



展覧会の様子



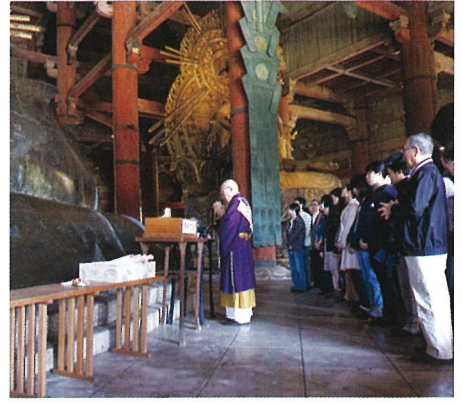
森本長老の講話に耳を傾ける



表彰状が授与される



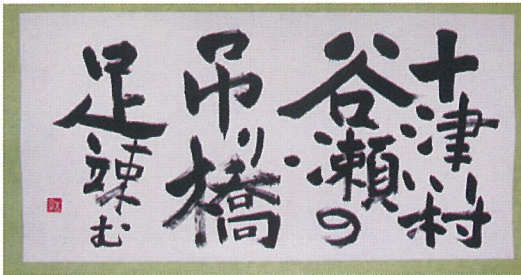
席書会の様子



大仏さまに作品を奉納

特別賞（7点）

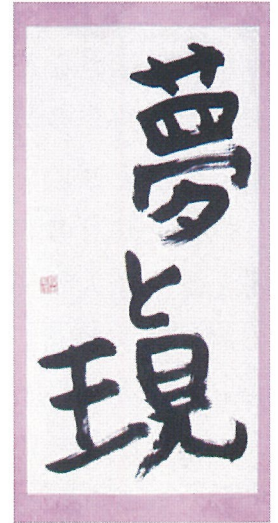
奈良県知事賞



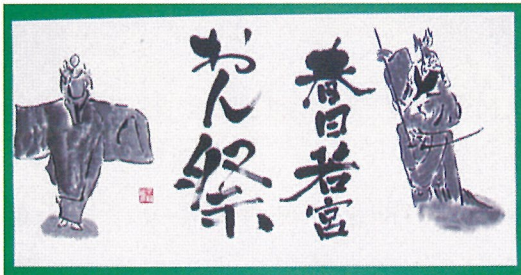
奈良県教育長賞



奈良市長賞



奈良市教育長賞

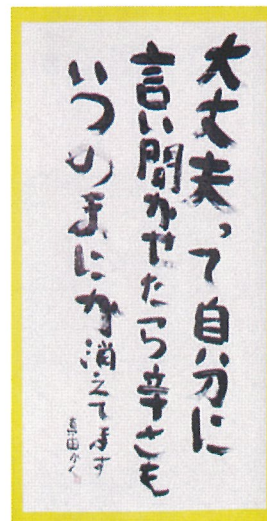


奈良 21 世紀フォーラム理事長賞



- 奈良県知事賞 「谷瀬の吊り橋」
小山結生さん（大阪国際滝井高等学校）
- 奈良県教育長賞 「無事」
清原 健さん（奈良教育大学）
- 奈良市長賞 「夢と現」
小西 陽さん（奈良県立榛生昇陽高等学校）
- 奈良市教育長賞 「春日若宮おん祭」
久保諒介さん（兵庫県立吉川高等学校）
- 東大寺賞 「希望」
内山枝美花さん（埼玉県立越ヶ谷高等学校）
- 朝日新聞社賞 「大丈夫って…」
澤谷真由さん（札幌市立山の手養護学校）
- 奈良 21 世紀フォーラム理事長賞 「秋 エモーションナル」
福田萌衣さん（奈良学園大学 奈良文化女子短期大学部）

朝日新聞社賞



東大寺賞

